

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年11月22日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	岩手県	代表者名	岩手県知事 達増拓也
担当者部署	ふるさと振興部	連絡先電話番号	019-629-5313
担当者役職	主事	担当者氏名	工藤 誠士
住所	020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	アドバイザーの公務員としての経験に基づき、業務プロセス改革に係る具体的な取組を交えた講演をしていただき、理解しやすかった。 自治体DXの入門的な内容であり、管理職をはじめとした幅広い職員が聞いておくべき充実した内容であった。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、岩手県や県内市町村の自治体DXの推進についてアドバイス頂きたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年11月16日	14時30分	17時00分		150
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	岩手県職員、県内市町村職員	120人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) 自治体DXの推進に当たっては、首長等から一般職員まで、DXの基礎的な共通理解の形成や実践意識の醸成を図る必要があるが、情報政策・行政改革以外の部門の職員にはDXの必要性が十分認識されておらず、県・市町村とも組織全体でのDXの取組が促進されない状況にある。 令和7年度末までの計画期間内にDXの取組を実行するためには、DXの認識共有・機運醸成の取組が不可欠である。	
	支援により目指す成果(具体的にご記入下さい) 自治体DX推進計画等を踏まえ、デジタル技術やデータを活用し、住民利便性の向上や業務効率化を実現するための取組を県及び市町村において着実に進めていくことができるよう、その推進に必要な知識やマインドセットの習得を図ること。	
	アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい) 自治体DXに係る国の動向、自治体DXの意義といった基本的な内容に加え、自治体業務改革の本当の意味、働き方改革の観点から自治体が目指すべき業務デジタル化の方向性等について、豊富な経験・事例を交えてわかりやすく講演いただいた。	
	支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい) 県・市町村の多くの職員にDXや業務プロセス改革の必要性を認識してもらうことができた。 参加者からはDXの取組について自分事として考えられるようになったとの感想もあり、DXの取組を身近に感じてもらうきっかけとなった。	
	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	自治体DXの推進に向けた県・市町村職員のマインドセットの習得が図られた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入下さい)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり(集計結果を添付)	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	県・市町村の全職員がDX推進のマインドセットを習得し、「自治体DX推進計画」に掲げられた重点取組事項等を着実に推進する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

